

※当案件については、「株式会社夢菓房たから」からも
6月3日(火)付で高松経済記者クラブに提出されています。

令和7年6月12日
香川県交流推進部県産品振興課
担当 藤本・渡邊 (内線3574)
087-832-3383

Press Release

報道関係者各位

「第28回全国菓子大博覧会・北海道あさひかわ菓子博」 優秀工芸賞受賞 「時を織りなす舞」の展示について

「第28回全国菓子大博覧会・北海道あさひかわ菓子博(※1)」で、香川県からの出品では、初めて優秀工芸賞を受賞した大型工芸菓子「時を織りなす舞」(香川二六会(※2))を6月19日(木)から県庁で展示します。

○展示場所:香川県庁東館1階 県産品ショーケース横
香川県高松市番町4丁目1番10号

○展示期間:令和7年6月19日(木)～令和8年3月31日(火)

○展示菓子について

- ・制作者:香川二六会(株式会社夢菓房たから)
- ・受賞:「第28回全国菓子大博覧会・北海道あさひかわ菓子博」

【優秀工芸賞】※香川県からは初めての受賞

出品数:90作品

賞 数:名誉総裁賞(10)、農林水産大臣賞(10)

文部科学大臣賞(10)、優秀工芸賞(6)

○作品説明:裏面をご参照ください。

※1 全国菓子大博覧会は、1911年に東京で行われた「帝国菓子飴大品評会」に始まり、お菓子の祭典として約4年に1度、全国各地で開催されてきた。28回目の開催となる2025年は、5月30日(金)から17日間、北海道旭川市を舞台に開催。当イベントでは、全国の菓匠達が伝統の技を駆使して制作した工芸菓子の展示も行われており、この中から受賞作品が選出。

※2 菓子研究団体香川二六会は、和菓子の研究や技術向上を目的とした団体
香川県内の菓子店14店が参加



○作品説明（香川二六会）

「時を降りなす舞」に込めた想い作品「時を織りなす舞」は、生命の壮大な移ろいと 循環を描いています。満開の桜は、まさに現在の命の輝き。生き生きとした生命の躍動を表現しました。そして、横たわる流木は、過ぎ去った時間、積み重ねてきた 経験の重みを象徴しています。さらに、画面いっぱいに咲き誇る牡丹は、多様な生命の営み、その中で生まれる新たな美しさを表現するために配しました。これらの要素が織りなす背景に舞い降りるのは、一羽の孔雀です。孔雀は、美・再生・そして不滅の象徴として、この作品に深みを与えています。その舞は、まるで過去から現在、そして未来へと続く時間が途切れることなく繋がり、絡み合いながら、一つの壮大な生命のタペストリーを織り上げているかのようです。この作品を通して、終わりの中に始まりを見出し、移ろいゆく時の流れの中にこそ、真の美と希望が宿っていることを伝えたいのです。

《展示菓子についてお問合せ先》

株式会社夢菓房たから 担当：村田・田中

TEL：087-844-8801

MAIL：soumu@e-takara.jp